

教職大学院案内

Professional Development Course in School Education, Graduate School of Education,
Kumamoto University

2027



学校の課題に、 実践と研究で向き合う

日々の教育実践から問いを見つけ、研究によって確かめ、
学校をよりよく変えていく力を育てます。

令和9年度入試（令和8年度実施）

募集人員 **30** 名

学校教育実践高度化コース 9人程度
【授業実践開発・生徒指導・教育相談・学級経営・学校経営・保健室経営】

教科教育実践高度化コース 13人程度
【国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語】

特別支援教育実践高度化コース 3人程度

教育の国際化実践高度化コース 5人程度

※入試日程等の詳細は、令和8年6月下旬頃に公表予定の学生募集要項をご確認ください。



理論と実践の「往還」が、教育のプロを変える。 現場の課題を科学し、解決へ導く2年間。

熊本大学教職大学院のカリキュラムは、大学での理論的学びと学校現場での実践を繰り返す「理論と実践の往還・融合」を核としています。共通科目、専門科目、そして重厚な教育実践研究科目を体系的に積み上げることで、高度な「授業力」「生徒指導力」「経営力」をバランスよく育成します。多くの授業では、高度な専門性を持つ「研究者教員」と、豊かな現場経験を持つ「実務家教員」がペアやグループで指導に当たり、理論を即座に実践へと繋げる指導体制を整えています。



学校現場こそが、最高の教科書。 「教育実践研究」で、実践をアップデートする。

本大学院の学びの中心は、2年間で計10単位を課す「教育実践研究（実習）」です。単なる観察実習ではなく、連携協力校（現任校を含む）において「課題発見・分析」「解決策の提案・試行」「検証・評価」という実践研究のプロセスを経験します。自ら設定した教育課題に対し、大学での学びを総動員して挑むことで、地域の教育改革を牽引しうる、確かな「実践的指導力」と「研究開発力」を身につけることができます。



世代と立場を超え、共に創る「次世代の教員像」。 新卒と現職、研究者と実務家が響き合う場所。

学部新卒学生の斬新なアイデアと、現職教員学生の豊富な経験が刺激し合う本大学院では、教員側も強力なタッグを組んでいます。指導法と専門分野の教員、そして実務家教員が連携する「チーム・ティーチング」を通じて、理論を現場の課題解決にどう活かすかを徹底的に追求します。教育実践研究（実習）においても、学生1人に対して複数の教員がTT体制で手厚くバックアップし、地域の教育改革を牽引するリーダーを共に育て上げます。



【過去の研究テーマ例】

コース	研究テーマの例	学生区分
学校教育実践高度化コース	学校と地域の協働を通じた学校教育の再構築—子どもの学びを核とした地域づくりを目指して—	現職
教科教育実践高度化コース	技術科「情報の技術」における中核的概念形成のための3DCADおよび3Dプリンタを活用した授業開発	ストレートマスター
特別支援教育実践高度化コース	特別な配慮を必要とする子どもの支援と校内支援体制づくりのための課題解決モデルに基づくショートケース会議の実践	現職

*これらは過去の一例です。過去の研究報告書は教職大学院HPで公表しています。

専門性を極め、教育の未来を拓く。

あなたの志を形にする4つの専門コース。

学校教育実践高度化コース

学校を動かす。教育を創る。未来の学校改革を牽引するリーダーへ。

授業実践、生徒指導、学級経営・学校経営、さらには保健室経営まで、学校運営の中核を担う高度なマネジメント能力を養います。学部新卒のストレートマスターには、各領域をバランスよく学ぶことで即戦力としての総合力を、現職教員には複雑な教育課題を組織的に解決するミドルリーダーとしての力量を育成します。多様なキャリアが刺激し合う場で、次世代の学校改革を牽引するリーダーを目指します。



教科教育実践高度化コース

「学び」を科学し、専門性を研ぎ澄ます。授業実践のスペシャリストを極める。

各教科の特性を深く理解し、最新の教科教育学の知見を総動員して、子供たちの深い学びを引き出す高度な授業開発・実践力を磨きます。国語、社会、数学、理科、保健体育、音楽、美術、家庭、技術、英語などの各教科領域において、理論に基づいた授業構成力と現場での共同研究を通じた確かな実践的指導力を備えた教員を養成します。



特別支援教育実践高度化コース

一人ひとりの可能性を拓く力。インクルーシブ教育の未来を支える中核に。

特別な支援を必要とする子供への深い障害特性の理解と、的確な指導力を習得します。学部新卒のストレートマスターには個別のニーズに応じた支援の基礎と実践力を、現職教員には校内支援体制を構築するコーディネート力やインクルーシブ教育を組織的に推進する研究開発力を重点的に育成します。多様な学びを学校全体で支え、現場を牽引するスペシャリストを養成します。



教育の国際化実践高度化コース

境界を超え、多様性が響き合う教室へ。グローバル社会をリードする次世代の教員に。

急速に変化する教育環境の国際化に即応し、英語と日本語による「イメージ教育」や、外国につながるのある児童生徒への多文化共生に基づいた学習・生活支援を深化させます。多様なルーツを持つ子供たちが共に学び合う教育方法を確立し、次世代に必要なグローバルマインドを育むことのできる高度な実践力を身につけます。



未来を拓く、教育のリーダーへ。

修了後のキャリアと確かな実績。

熊本大学教職大学院での2年間の学びは、単なる知識の習得に留まりません。学部新卒学生（ストレートマスター）は即戦力となる教員として、現職教員学生は次代の学校経営を担うリーダーとして、修了後もそれぞれのフィールドで地域の教育を牽引しています。

次世代を担うリーダーへの登用（現職教員学生）

現職教員学生の多くは、修了後に自校や地域の教育改革を推進するミドルリーダー（中核の中堅教員）教頭、主幹教諭、さらには教育委員会の指導主事へと登用されるケースが非常に多く、三期生までの現職教員修了生18名のうち8名がこれらの指導的立場に就いています。学校経営や生徒指導、教科教育の専門性を高めたことが、キャリアアップへと直結しています。

極めて高い教員就職率（学部新卒学生）

学部新卒学生（ストレートマスター）の多くが、修了後すぐに熊本県内外の教育現場で活躍しています。令和6年度修了生の進路状況調査において、教育学研究科（教職大学院の課程）の教員就職率は100%を達成しました。また、これまでの修了生のうち、96.6%が正規採用や臨時採用、私立学校教員として教壇に立っており、大学院での学びを直接子どもたちの指導に活かしています。

専門職学位と専修免許状の取得

本大学院を修了した者には、高度な専門的知識と実践的指導力を備えた証として「教職修士（専門職）」の学位が授与されます。また、現在所有している一種免許状を、さらに上位の「専修免許状」へとグレードアップさせることが可能です。これは、教員としての高い専門性を公的に証明するものであり、生涯にわたって学び続ける教員としての基盤となります。



未来の教育を担う、すべての人へ。 出願資格と選抜の要点。

本大学院では、教職への強い志を持つ学部新卒者から、確かな経験を備えた現職教員まで、幅広く門戸を開いています。それぞれのキャリアや目的に応じた選抜制度により、次世代の教育リーダーを募集します。

共通要件	学士の学位：大学を卒業した方、または令和9年3月までに卒業見込みの方。 教員免許状：幼稚園、小・中・高等学校、養護教諭、または栄養教諭の普通免許状を保有していること（取得見込みを含む）		
学部新卒者（ストレートマスター）	即戦力の教員を目指す方が対象。論述試験と口述試験により選抜します。	一般入試	出願期間：7月中旬～下旬 試験日：9月下旬
現職教員（教育委員会派遣）	熊本県または熊本市の教育委員会から推薦を受けた方が対象。口述試験のみで選抜されます。	推薦入試	出願期間：10月中旬 試験日：11月下旬
現職教員（自己志願・休職等）	6年以上の教職経験があり、所属機関の長（学校長等）の推薦を得られる方が対象です。		

※詳細は、令和8年6月下旬頃に公表予定の学生募集要項をご確認ください。

キャリアを止めず、学びを深める。 ライフスタイルに寄り添う「長期履修制度」。

熊本大学教職大学院では、現職の教員や仕事を持つ社会人、あるいは育児や介護といったライフステージにある方が、無理なく、かつ計画的に学問と向き合えるよう「長期履修制度」を設けています。この制度を利用することで、通常2年の標準修業年限を、自身の状況に合わせて3年または4年に延長して修了することが可能です。授業料の総額は2年分をベースに、履修期間に応じて按分して支払う仕組みとなっているため、経済的な負担を抑えながら、じっくりと高度な専門性を磨き続けることができます。

教職の道が、学びの支援を形にする。正規教員採用で 奨学金が全額免除される「教員免除」制度。

教職大学院で高度な専門性を磨き、修了後すぐに地域の教育現場を支えるリーダーとなるあなたを、経済面からも強力にバックアップします。日本学生支援機構（JASSO）の第一種奨学金には、在学中に優れた業績を上げ、かつ修了後速やかに正規教員として採用された場合に、大学院在学時の貸与額が全額免除となる「教員免除」の仕組みがあります。熊本大学教職大学院での「理論と実践の往還」を通じた学びが、教員としての確かなスタートを後押しします。 ＊詳細は日本学生支援機構HPを確認してください。

Access



◀ 黒髪北地区・附属特別支援学校 ▶

◎ JR熊本駅から2番のりば 産交バス等
楠団地、光の森産交行き等（子飼経由）「熊本大学前」下車

◎ JR上熊本駅から1番のりば 都市バス
第一環状線、昭和町線（子飼橋経由）「子飼橋」下車徒歩10分

◎ JR竜田口駅から 産交バス
桜町バスターミナル行き「熊本大学前」下車

◎ 桜町バスターミナルから16番のりば E 産交バス
楠団地、光の森産交行き等（子飼経由）「熊本大学前」下車



**熊本大学教育学部・
大学院教育学研究科**

Faculty of Education & Graduate School of Education,
Kumamoto University

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
TEL：096-342-2522 / FAX：096-342-2520
<https://www.educ.kumamoto-u.ac.jp/>

